

ほっと NEWS

ここを支える、ここで支える



CONTENTS

- ・第5回 聖泉 CLC セミナーの開催
- ・心理学応用演習での実験
- ・資格取得ワークショップ
- ・イベントのご案内（春のセミナー）
- ・聖泉シンボルスポーツの躍進



聖泉シンボルスポーツの活躍

女子ホッケー部 >>> 監督 宮崎 奈美

今シーズンはインカレベスト4を目指し全日本選手権大会の場にもう一度、立つべく、春季リーグ、秋季リーグ、西日本インカレなど大会の1試合1試合を大事に取り組んできました。前期の春季リーグの順位決定戦では、準決勝で立命館大学に大敗し、三位決定戦で関西学院大学に勝利し3位をキープ。王座決定戦では1回戦で慶應義塾大学に大差で圧勝し、準々決勝では近年ベスト4を掛けて東海学院大学と対戦。自分達はチャレンジャーとして挑み、聖泉らしく運動量を上げボールと人が連動して動くホッケーを精一杯やる事ができました。しかし、結果0-5と完敗。この敗戦で、選手たちの意識が変わり、後期の西日本インカレでは、準決勝で天理大学に0-3、3位決定戦で東海学院大学に0-2と僅差となりチャンスを作りつつも、得点力が欠けている部分を秋季リーグで改善しインカレに繋げていけるよう意識して取り組みました。インカレでは豪雨の中、中京大学との試合で前半でも勝負は決まらずSOにもつれ込み、2-3で敗戦しました。最終的には今シーズン通して納得できる結果を残すことが出来ませんでしたが、選手の手取りみや一生懸命さに感謝したいと心から思います。



監督 後藤 剣 <<< 女子サッカー部

昨シーズン（春リーグ）は、1部6位という結果に終わり、秋リーグが勝負。インカレ出場という思いで選手たちは意気込んでいました。結果は、1勝したものの2部降格。不甲斐なさや虚しさや戦えない弱さだけが、抜け殻のように残っていました。しかし、このような経験は長い人生の中で、誰もが味わうことだと思います。この状況でどのように修正・修復しチームを形成するかを問われている。なでしこ JAPAN のワールドカップ優勝を機に、大学女子サッカーも躍進し続けるばかりか、新規参入チームも続々増えてきています。今までとは違う。今までに執着すれば必ず置いて行かれる。まさに女子サッカーにおける戦国時代です。2部降格という悔しさを拭き去るには、来季、春リーグ2部優勝。秋リーグにおいては、インカレ出場は絶対条件になります。目標が達成されていない今、女子サッカー部にとって勝負はまだ終わっていません。邁進・躍動・貪欲・前進！！



男子ホッケー部 >>> 監督 山堀 貴彦

男子ホッケー部の今年度の主な成績は、関西学生春季リーグ4位、全日本大学王座決定戦では初戦敗退、西日本インカレ5位、関西学生秋季リーグ4位、インカレではライバル校のひとつである東海学院大学を3-0で破り、創部初となるベスト8という結果で終わりました。本年度は「チームになる」をテーマに日頃のトレーニング、生活の中からチーム内での意志疎通を図ることを目的として、あらゆる場面でそれぞれのプレーでのねらいや意図を理解することに重点を置きました。選手の主体性を高めるため、選手間でのミーティング、スターティングメンバーの選考、試合における戦術を主将、副主将が中心となり、選手間で話し合い、決定することで最初は多くの戸惑いがあるように感じましたが、徐々にそれぞれのやる事が明確になり、共通理解をすることでチーム力を格段にレベルアップすることができました。大学トップチームとの対戦も全く引けをとらない試合内容になり、ライバル校とは互角以上のパフォーマンスを発揮することができましたが、70分間を通じて勝利に対する執念や、状況に応じた判断力の向上が次年度に向けた課題になると感じました。



f 聖泉の旬な情報が満載！ ※ログインなしでも閲覧いただけます

公式 face book 開設！

<https://www.facebook.com/SeisenUniversity>



季刊誌のバックナンバーは
 公式ホームページで公開中！
<http://www.seisen.ac.jp/>

編集・発行 学校法人聖泉学園
 〒521-1123 滋賀県彦根市肥田町720
 TEL 0749-43-7511 FAX 0749-43-5201
 Email nyuushi@seisen.ac.jp
 発行日 2015年1月15日



NEWS & TOPICS 01 心理学応用演習Ⅱ

学生考案の実験を実施

心理学応用演習Ⅱでは、3年生12名が3班に分かれ、班ごとに研究を行っています。この授業の大きな特徴は、テーマ設定から実験の準備、実施まで全てを学生主導で行っている点です。そのため、今年の授業でもユニークな実験テーマが揃っています。写真の実験では、人の顔写真の印象に表情や化粧の種類がどのように影響するのかについての実験を行っています。その他にも、ゲームのBCMの有無がゲームの遂行成績に及ぼす影響についての研究や、音楽の種類が時間感覚に及ぼす影響についての研究が行っています。

予想通りの実験結果が得られるかどうかは分かりませんが、実験を通して、心理学研究の面白さやその裏にある準備の大変さを経験し、その経験を来年度の卒業研究に活かしてくれることを期待しています。

キャンパストピックス 人間学部の新スーパースピックスの一部を紹介します！

～夢の続きを描こう～第5回CLCセミナーを開催しました！



CLCセミナー 地域に欠かせない学びの風景を

12月13日（土）・14日（日）にCLCセミナーが開催されました。選挙や悪天候などが重なり、来場者数こそ約八百人と少なかつたものの、講師の伝えたいという想いと受講されたみなさんの学びたいという熱意に支えられて、無事に終えることができました。

今回のテーマは、「夢の続きを描こう」。開講した講座数は昨年と同じく52講座でした。学生が自ら講師に依頼し、講師とともに講座を作り上げていくスタイルも変わりません。また、今年は、原点に立ち戻って、イベントや催し物ではなく学びを中心とした講座の提供に挑戦しました。それに伴って、従来の地域活動や地元企業の紹介にとどまらず、哲学や茶道、復興支援、世界平和や地球環境さらには宇宙開発といった幅広いジャンルとテーマの学びが提供されました。さらに、昼食には学食を提供できたことで、学びを通じて、聖泉大学を「開く」ことができたのではないかと考えております。

このCLCセミナーは、学生にとって、地域や社会と何か関わりながら場を作り上げる大変さを体験する一方で、得られた経験や自らの学びを発見する場でもあります。後輩にただ引き継ぐだけではなく、地域に欠かせない風景として根付いていくように来年も開催します。

記事…近藤紀章（人間学部特命講師）

i-Cafe(インターンシップ・カフェ) 企業の魅力発信とプログラム作成

CLCセミナー2日目の14日（日）13時から14時半まで、i-Cafe(インターンシップ・カフェ)が開催されました。今年度はインターンシップを軸とした学びのイベントを学生が企画・運営しました。i-Cafeには、インターンシップを受け入れていただく企業様等11の企業・団体様から13名の参加をいただき、本学の学生と併せて約80名近くが集い交流をしました。

当日のプログラムは2つです。1つ目では、前期インターンシップに参加した4名の学生からの報告発表です。報告では、実習を通して発見したインターンシップ先企業様の魅力や自らが実習中に貢献できたと思う点等について報告されました。

2つ目は、企業の方と学生がともにつくるインターンシップ・プログラムのワークショップです。企業の方1名と4名～5名の学生がグループとなり、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で行われました。ワークは、①企業の魅力を伝える会社概要の作成②10日間のインターンシップ・プログラムの作成です。最終的に学生がプレゼンテーションを行い、投票により魅力あるプログラムが決定されました。学生は企画・運営を通して、ワークショップにおけるファシリテートの重要性などを学んだとともに、企業の方の仕事に傾けられる情熱を感じたようです。

記事…石川朝子（人間学部特命講師）

NEWS & TOPICS 02 資格取得支援

基礎ゼミで資格取得ワークショップ

人間学部キャリア教育科目「基礎ゼミB」において、「資格取得」を題材とした授業を3時間かけて実施しました。これは、資格取得の意義や活用方法を学び、各専攻で推奨する資格を取得するまでの具体的な計画を立てながら、実際に資格取得にチャレンジしてみようというものです。（今回取り上げた資格↓「心理学検定」「幼児体育指導者検定」「秘書検定」）

まずは、教員が資格に関する基本情報を提供して、それぞれ関心を持った資格ごとのグループに別れ、「どのような資格か」「どのような試験内容か」「どのような準備が必要か」などについて話し合い、最終的には受験に向けた学習会を行いました。

「資格取得」は、「自らの知識や技術を証明する」「将来の仕事に役立つ」といった実務的な視点だけでなく、そのプロセスにおいて計画性や実行力など、様々な資質や能力が問われます。こうした活動を通して、資格取得に限らず、目標に向かって前向きに取り組む姿勢を養ってほしいと思います。



学生の声！



5代目HJS社長
岡田 拓実 さん
(人間学部人間心理学科2年生)

5代目の社長を務めた岡田さんにCLCセミナーを終えての感想をお伺いしました。

■セミナー開催までの苦労話

キャリアデザインの授業内でCLCセミナーに関わる準備を行っていたのですが、その授業内では到底終わらずことはできず、残った仕事は幹部や一部の学生に行ってもらっていました。幹部に関しては毎日のように幹部会議を開き、終わることのない山積みの課題と目標に向け日々討論を交わしていました。

■社長という役割で一番大変だったこと

夏休みを終え、いきなり社長に任命され、右も左もわからない状態から始まった社長業務。社長としての自覚を持ってきた出来事が講師説明会でのスピーチです。後にも先にもこのスピーチが一番大変でしたし、鮮明に記憶に残っています。一時はどうなるかと思いましたが、最終的には会場全体の支えもあり締めることができました。今となっては笑い話ですが、この経験があったからこそ責任感が芽生え、講座の成功を強く意識できたのだと思います。

■今回のセミナーを通して学んだことや感じたこと

大学と地域との繋がりや、人と人との繋がりが、また社会人としての自覚など多くを学ぶことができました。しかし私が学び手に入れたモノ…それは学生同士の絆やチームワーク力だと思います。大学生になり、新たな仲間と共に一から創り上げたセミナー。活動を通して、仲間とともに同じ目標に向かって支え合うという、日常では感じることのない体験をすることができました。

■来年度の後輩に向けてアドバイス

自分にできることは早め早めに行い、自ら進んで仕事を行ってください。今年度に限らず毎年そうだと思うのですが、一部の人が仕事を抱え込み過ぎてパンク寸前になる人がいます。そのような人を出さないためにもお互いが協力し、助け合いの精神で頑張ってください。あなたの努力は必ず報われます！

新しい自分を発見！

2015
Spring Seminar
特別企画

心理学を活かした キャリアデザイン入門

春は大学で自分探しからスタート

多種多様な学問分野の中から、やりたいことを見つけるのはとても難しいことですね。

まずは、自分を知ることから始め、進路選択に役立てよう！

2015 3.23 月

13:00 ~ 16:00 (12:30 受付開始)

1 本日の流れをご説明

本日のセミナーを活用するポイントについて、初めにご説明いたします。

2 自分の適性を知り将来を考えよう

1. 心理テスト実践編
…心理テストを用いて適性をチェック！
2. 解説編
…自分がこれから取り組んでいきたい勉強の内容や興味関心が見えてくる！

3 本学の教員が答える進路相談

本日のセミナーで感じた疑問点について、各領域の専門家である本学教員がそれぞれお答えします。

